

令和3年度
三条市幼児教育推進プラン実施状況
(3月末現在)

令和4年6月
三条市教育委員会 子育て支援課

- ※ 「小学校等」は市内小学校及び義務教育学校前期課程を指し、「中学校等」は市内中学校及び義務教育学校後期課程を指す。
- ※ [幼保ア]は幼稚園及び保育所(園)のアンケート結果を、[小学ア]は小学校のアンケート結果を、それぞれ示す。

《重点項目1》 幼児教育内容の一層の充実

施策(1) 「遊び」を通した豊かな教育活動

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及びアンケート結果																																					
① 運動遊びの推進(新規・強化)	<p>【「運動遊び」の推進と研修】</p> <p>保育所(園)における「運動遊び」に対する理解を更に深め、施設での実践につながるよう、「三条版運動遊びプログラム」の活用を促進し、子どもの日常生活にも取り入れられるよう、保護者への啓発を図った。</p> <p>●保育所の研修及び実践活動</p> <p>○自然体験活動研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 5/7 (大崎山公園) ・講 師 にいがた里山研究会理事長 小林 良範 氏 ・内 容 自然の知識、自然の中での発見、体験等、実地研修 ・参加者数 1回目 16人 (年長児担任、その他希望職員) <p>○大崎山自然体験活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対 象 公立保育所年長児 ・実施回数 年2回実施(時期は各施設で決定) 公立保育所9施設 計17回実施 (悪天候により1回中止) ・場 所 大崎山公園 ※三燕みどりの森公園 (クマの出没により9月より場所を変更して実施) 	<p>(運動遊びの研修と実践)</p> <p>市作成の「三条版運動遊びプログラム」により、多様な動きが経験できるように様々な遊びを日常の実践に取り入れ、子ども達の体力向上や意欲を育むことに努めた。</p> <p>●「三条版運動遊びプログラム」の活用状況</p> <p>[幼保ア] 活用している保育者の割合</p> <table border="1" data-bbox="1308 715 2033 836"> <thead> <tr> <th>ア</th> <th>80%以上</th> <th>50~80%未満</th> <th>50%未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>9 (28%)</td> <td>16 (50%)</td> <td>7 (22%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>5 (16%)</td> <td>17 (55%)</td> <td>9 (29%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[幼保イ]「運動遊び」の意図的展開の状況</p> <table border="1" data-bbox="1330 928 2051 1216"> <thead> <tr> <th>イ</th> <th>意図的な実施</th> <th>R3</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">年少児</td> <td>実施した</td> <td>27 (84%)</td> <td>27 (87%)</td> </tr> <tr> <td>実施しなかった</td> <td>5 (16%)</td> <td>4 (13%)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">年中児</td> <td>実施した</td> <td>27 (84%)</td> <td>28 (90%)</td> </tr> <tr> <td>実施しなかった</td> <td>5 (16%)</td> <td>3 (10%)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">年長児</td> <td>実施した</td> <td>29 (91%)</td> <td>29 (94%)</td> </tr> <tr> <td>実施しなかった</td> <td>3 (9%)</td> <td>2 (6%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 文部科学省「幼児期運動指針」では、「手伝い」等を含めて1日60分の運動を推奨</p> <p>※ 1日の設定保育時間内の運動遊びの平均 年少児20分以上、年中児25分以上、年長児30分以上</p>	ア	80%以上	50~80%未満	50%未満	R3	9 (28%)	16 (50%)	7 (22%)	R2	5 (16%)	17 (55%)	9 (29%)	イ	意図的な実施	R3	R2	年少児	実施した	27 (84%)	27 (87%)	実施しなかった	5 (16%)	4 (13%)	年中児	実施した	27 (84%)	28 (90%)	実施しなかった	5 (16%)	3 (10%)	年長児	実施した	29 (91%)	29 (94%)	実施しなかった	3 (9%)	2 (6%)
ア	80%以上	50~80%未満	50%未満																																				
R3	9 (28%)	16 (50%)	7 (22%)																																				
R2	5 (16%)	17 (55%)	9 (29%)																																				
イ	意図的な実施	R3	R2																																				
年少児	実施した	27 (84%)	27 (87%)																																				
	実施しなかった	5 (16%)	4 (13%)																																				
年中児	実施した	27 (84%)	28 (90%)																																				
	実施しなかった	5 (16%)	3 (10%)																																				
年長児	実施した	29 (91%)	29 (94%)																																				
	実施しなかった	3 (9%)	2 (6%)																																				

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及びアンケート結果																					
	<p>○「三条版運動遊びプログラム家庭編」配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時 期…4月 ・対 象…市内幼稚園・保育所(園)等の年少児保護者 ・配布数…804部 ・保育所(園)等の参観において運動遊びを紹介し、親子での運動遊びを実践 ・子育て支援センターにプログラム設置 ・NP講座、初めてのママ講座において家庭における運動遊びを紹介するなど、周知対象を拡充 	<p>幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及びアンケート結果</p> <p>【幼保ウ】 「運動遊び」の日常の園内外生活への実践</p> <p>※ 子どもが楽しく体を動かしながら遊ぶ中で、多様な動きを経験するための環境構成や実践方法を工夫した。</p> <table border="1" data-bbox="1312 320 1944 443"> <thead> <tr> <th>ウ</th> <th>実践している</th> <th>実践していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>23 (72%)</td> <td>9 (28%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>24 (80%)</td> <td>6 (20%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【幼保エ】 「運動遊び」の保護者への啓発</p> <p>三条版「運動遊びプログラム」家庭編を配布するとともに、家庭での実践につながるよう保育参観等で紹介した。</p> <p>※ 啓発の方法(次のうちどれだけ実施したか。)</p> <p>アンケート項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育参観で「運動遊び」を公開 (9%) ・親子の「運動遊び」を紹介し実践する機会を持った。(9%) ・「運動遊び」の大切さや園内の実践について保護者に説明(6%) ・「運動遊び」の大切さや園内の実践について保護者へおたより(13%) <table border="1" data-bbox="1312 839 2033 962"> <thead> <tr> <th>エ</th> <th>3つ以上</th> <th>1～2つ</th> <th>啓発なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>4 (13%)</td> <td>25(78%)</td> <td>3 (9%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>5 (16%)</td> <td>22 (71%)</td> <td>5 (13%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【考察】</p> <p>保育活動では「三条版運動遊びプログラム」を用いた実践が増え、意図的な実践はおおむね浸透している。</p> <p>コロナ禍における制限がある中での取組は、運動時間の確保等の難しさもあったが、外遊びを多くすることや少人数単位で行う等の工夫をした。また、内容についても多様な動きを入れる、自分で考えて構成して遊べる場の設定、達成感を味わえるような関わり等、育みたい力を意識した実践を行っていることがアンケートからも分かった。各施設の取組を更に促進できるよう、研修や情報発信や情報共有を行っていきたい。</p>	ウ	実践している	実践していない	R3	23 (72%)	9 (28%)	R2	24 (80%)	6 (20%)	エ	3つ以上	1～2つ	啓発なし	R3	4 (13%)	25(78%)	3 (9%)	R2	5 (16%)	22 (71%)	5 (13%)
ウ	実践している	実践していない																					
R3	23 (72%)	9 (28%)																					
R2	24 (80%)	6 (20%)																					
エ	3つ以上	1～2つ	啓発なし																				
R3	4 (13%)	25(78%)	3 (9%)																				
R2	5 (16%)	22 (71%)	5 (13%)																				

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在) 及びアンケート結果												
②指導計画の改善・充実 (継続)	<p>【「保育のガイドライン」の活用状況把握等】</p> <p>国の保育所保育指針に基づき、平成30年3月に「保育のガイドライン」を作成した。このガイドラインの下、各保育所(園)において実践されるよう、個別・具体的取組等に係る相談や支援、並びに実施状況を確認した。</p> <p>※ 保育所(園)へのアンケートにより年度末に実施。結果は右のとおり。</p>	<p>【「保育のガイドライン」の活用】</p> <p>市作成の「保育のガイドライン」について、各保育所(園)の実情に合わせて、保育計画の作成や保育実践の指針とした。</p> <p>● 「保育のガイドライン」を活用している保育者の状況</p> <p>【幼保オ】 保育活動におけるガイドラインの活用度合い別の割合</p> <table border="1" data-bbox="1283 438 2123 560"> <thead> <tr> <th>オ</th> <th>80%以上</th> <th>50%以上～80%未満</th> <th>50%未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>15 (47%)</td> <td>12 (38%)</td> <td>5 (15%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>15 (50%)</td> <td>11 (37%)</td> <td>4 (13%)</td> </tr> </tbody> </table>	オ	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満	R3	15 (47%)	12 (38%)	5 (15%)	R2	15 (50%)	11 (37%)	4 (13%)
オ	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満											
R3	15 (47%)	12 (38%)	5 (15%)											
R2	15 (50%)	11 (37%)	4 (13%)											
	<p>【「保育のガイドライン」等に基づく指導計画の作成の支援】</p> <p>公立保育所については、市で作成した「保育のガイドライン」に基づき各保育所において指導計画を作成後集約し、内容確認を実施した。</p> <p>私立保育園については、同ガイドラインを指針としつつ、各施設の考え方も織り交ぜながら指導計画を作成している。</p>	<p>【「保育のガイドライン」等に基づく指導計画作成、指導の実施・評価】</p> <p>「保育のガイドライン」等に基づき、各施設において年間指導計画及び月間指導計画を作成した。また、月間指導計画については、実施状況の評価を行い、翌月の指導計画に反映させつつ運用した。</p> <p>【幼保カ】 実施状況の評価を指導計画に反映したクラスの割合 (幼稚園教育要領等に基づく指導計画の作成・活用)</p> <p>※ 幼稚園教育要領等：幼稚園教育要領、認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針</p> <table border="1" data-bbox="1276 995 2107 1117"> <thead> <tr> <th>カ</th> <th>80%以上</th> <th>50%以上～80%未満</th> <th>50%未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>20 (63%)</td> <td>12 (37%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>19 (61%)</td> <td>11 (36%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> </tbody> </table>	カ	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満	R3	20 (63%)	12 (37%)	なし	R2	19 (61%)	11 (36%)	1 (3%)
カ	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満											
R3	20 (63%)	12 (37%)	なし											
R2	19 (61%)	11 (36%)	1 (3%)											

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及びアンケート結果															
③体験活動の充実(継続)	<p>【保育所等と保護者への啓発・支援】 親子の触れ合いを含む体験活動の重要性について啓発するとともに、保育所(園)における活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保育所の研修及び実践活動 自然体験活動研修会の開催 ※「①運動遊びの推進」のとおり 	<p>【豊かな体験活動の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自然体験活動の実施(※「①運動遊びの推進」のとおり) 自然体験活動など子ども達が五感を働かせ自然を楽しむ中で、気付きや好奇心を誘発し、普段とは異なる体の動きを促すとともに、保護者の参加により、保護者同士の交流や子どもとの交流を図った。 また、日常の保育の中でも園庭遊びや散歩を意図的に取り入れた。 ●日常の保育における実践 [幼保キ] 豊かな体験ができるよう様々な活動を工夫しているクラスの割合 <table border="1" data-bbox="1249 616 2078 735"> <tr> <td>キ</td> <td>80%以上</td> <td>50%以上～80%未満</td> <td>50%未満</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>23 (72%)</td> <td>9 (28%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>20 (65%)</td> <td>9 (29%)</td> <td>2 (6%)</td> </tr> </table>				キ	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満	R3	23 (72%)	9 (28%)	なし	R2	20 (65%)	9 (29%)	2 (6%)
キ	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満														
R3	23 (72%)	9 (28%)	なし														
R2	20 (65%)	9 (29%)	2 (6%)														
④5領域の教育内容の充実(継続)	<p>【研修会等の情報提供(パワーアップ、発達支援関係等)】 幼稚園教育要領や保育所保育指針等で示されている「5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)」にわたる教育内容への理解を深めるため、研修の機会を紹介・手配した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●研修会等の情報提供・参加集約 パワーアップセミナー、初級保育研修、乳児保育、子育て支援研修会等の情報提供 参加者 延べ163人 ●絵本研修会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 8/18 ・会 場 栄庁舎3階ホール ・講 師 加藤 由美子 氏(新潟青陵幼稚園長) ・演 題 「言葉の豊かさは、表現力の豊かさ」 ・対 象 幼稚園・保育所(園)等の保育者、小学校教職員等 ・参加者 18人(私立7人、公立9人、市内小学校2人) 	<p>【研修内容を活かした教育・保育活動の実施】 研修により自らの教育・保育の専門的知識の向上を図り、習得した内容を活かしつつ、教育・保育活動の充実や実践に努めた。 また、発達や子どもの興味に合わせた絵本の選定、人数、時間、場所等を工夫して絵本を楽しむ環境づくりを行った。 さらに、食への興味や関心を高めるとともに、食べ物への感謝の心や命を大切にする気持ちを育むことに努めた。</p> <p>[幼保ク] 5領域の充実を意識してクラス活動で実践している割合</p> <table border="1" data-bbox="1285 1161 2114 1281"> <tr> <td>ク</td> <td>80%以上</td> <td>50%以上～80%未満</td> <td>50%未満</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>24 (75%)</td> <td>8 (25%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>25 (81%)</td> <td>6 (19%)</td> <td>なし</td> </tr> </table>				ク	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満	R3	24 (75%)	8 (25%)	なし	R2	25 (81%)	6 (19%)	なし
ク	80%以上	50%以上～80%未満	50%未満														
R3	24 (75%)	8 (25%)	なし														
R2	25 (81%)	6 (19%)	なし														

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在) 及びアンケート結果
	<p>●食育事業の実施</p> <p>○食育指導の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各保育所(園) 28 施設 (全 148 回) ・ 3～5 歳児対象 (延べ 2, 838 人) ・ 3 歳未満児対象 (延べ 43 人) <p>○食育講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対 象… 5 歳児及びその保護者 ・ 内 容… 調理実習及び保護者食育講話 ・ 実施施設数… 26 施設 (全 34 回) ・ 参加保護者数… 530 人 	

施策(2) 特別な配慮が必要な子どもへの支援

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在) 及びアンケート結果																					
①三条市子ども・若者総合サポートシステムの充実(継続)	<p>【早期発見と支援の充実】 発達障がいや虐待の早期発見に努め、幼児施設、保護者、関係機関等と連携し、個別の支援を行った。</p> <p>●支援の概況 ○発達障がい等の把握数(就学前幼児) 206人 ○虐待管理児童数 62人</p>	<p>【早期発見と保護者や関係機関との連携・支援】 市の子ども・若者総合サポートシステムの中で、発達に疑いのある子や虐待などに早期に気付くよう努め、保護者や関係機関と連携を図り支援した。また、虐待の疑いのある子どもについては、関係機関と連携し支援した。(子どもの状況を確認し、家庭児童相談員へ通報)</p> <p>[幼保ケ] 次の取組についてどれだけ実施したか アンケート項目 ・発達障がいに早期に気付くための保育力向上に向けた取組を実施 (66%) ・全保育者が関係機関との連携の流れを分かっている (50%) ・園内で保育者相互の情報共有やケース検討等を行っている (72%)</p> <table border="1" data-bbox="1279 751 2092 874"> <thead> <tr> <th>ケ</th> <th>3つ</th> <th>1つ~2つ</th> <th>なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>11 (34%)</td> <td>21 (66%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>14 (45%)</td> <td>15 (48%)</td> <td>2 (7%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[幼保コ] 全保育者が虐待の疑いのある子に気付いた時の対応方法をわかっていたか。</p> <table border="1" data-bbox="1279 1034 1962 1157"> <thead> <tr> <th>コ</th> <th>わかっていた</th> <th>わかっていない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>26 (81%)</td> <td>6 (19%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>28 (93%)</td> <td>2 (7%)</td> </tr> </tbody> </table>	ケ	3つ	1つ~2つ	なし	R3	11 (34%)	21 (66%)	なし	R2	14 (45%)	15 (48%)	2 (7%)	コ	わかっていた	わかっていない	R3	26 (81%)	6 (19%)	R2	28 (93%)	2 (7%)
ケ	3つ	1つ~2つ	なし																				
R3	11 (34%)	21 (66%)	なし																				
R2	14 (45%)	15 (48%)	2 (7%)																				
コ	わかっていた	わかっていない																					
R3	26 (81%)	6 (19%)																					
R2	28 (93%)	2 (7%)																					

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在) 及びアンケート結果												
<p>②年中児発達参観の着実な実施(強化)</p>	<p>【年中児発達参観の実施の支援】 支援が必要な子どもへの早期に気付き・支援のため、「年中児発達参観」を実施した。(未実施1施設については引き続き働きかけていく。)</p> <p>●「年中児発達参観」実施の概要 実施幼稚園・保育所(園)等…31/32施設 実施回数…57回 対象児数…639人 参加児数…624人</p>	<p>【年中児発達参観の実施】 年中児発達参観を着実に実施していく中で、子どもの育ちや個性等に早期に気づき、一人一人に合った適切な支援を行った。</p> <p>【幼保サ】 年中児発達参観を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="1323 421 1798 544"> <thead> <tr> <th>サ</th> <th>実施した</th> <th>しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>31 (97%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>31 (97%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【考察】 引き続き年中児発達参観を着実に実施していくとともに、未実施施設についてはコーディネーターを中心に発達に課題がある児童への対応を行っていく。</p>	サ	実施した	しなかった	R3	31 (97%)	1 (3%)	R2	31 (97%)	1 (3%)			
サ	実施した	しなかった												
R3	31 (97%)	1 (3%)												
R2	31 (97%)	1 (3%)												
	<p>【「個別の発達支援計画」作成の支援】 個別の発達支援計画の引継ぎや活用の促進、支援計画作成状況及び引継ぎ状況等を把握する。</p> <p>●「個別の発達支援計画」の作成数 公立…125 共有…104 共有率…83.2% 私立…80 共有…76 共有率…95.0% 全体…205 共有…180 共有率…87.8%</p>	<p>【「個別の発達支援計画」に基づく支援】 「個別の発達支援計画」を活用し、一人一人の特性に応じた支援を継続的に行うとともに、支援計画を小学校等に確実に引き継いだ。 保護者理解も進みつつあり、参観前に個別の支援計画を作成できる子どもが多くいたが、保護者共有が難しい場合もあり、支援計画の作成に至ることができないケースもあった。</p> <p>【幼保シ】 今年度年中児発達参観で要支援になった子どもに個別の発達支援計画を作成した。※要支援になった子どもがいた施設のみ</p> <table border="1" data-bbox="1283 1091 1944 1214"> <thead> <tr> <th>シ</th> <th>100%</th> <th>70~100%未満</th> <th>70未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>25 (85%)</td> <td>4 (15%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>24 (89%)</td> <td>2 (7%)</td> <td>1 (4%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>29園/31園中 27園/31園中</p> <p>【考察】 障がいに対する保護者理解が進みつつあり、年中児発達参観前に個別の支援計画を作成し、支援につなげている子どもが増えてきている。発達支援コーディネーター研修での保育者のスキルアップを図り、保護者の障がいへの理解を促進していく。</p>	シ	100%	70~100%未満	70未満	R3	25 (85%)	4 (15%)	なし	R2	24 (89%)	2 (7%)	1 (4%)
シ	100%	70~100%未満	70未満											
R3	25 (85%)	4 (15%)	なし											
R2	24 (89%)	2 (7%)	1 (4%)											

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在) 及びアンケート結果												
③発達障がい等に対する啓発活動の充実 (継続)	<p>【 発達障がいに対する啓発活動、発達応援講演会の開催 】 乳幼児健診における相談対応のほか、発達障がいに関する講演会を開催し、啓発を図った。</p> <p>●発達応援講演会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 12/1～12/24 ・方 法 講演動画の配信 (YouTube) ・講 師 新潟大学教職大学院 教授 長澤 正樹 氏 ・演 題 「多様な子どもたちとその支援」 ・対 象 市民 ・再生動画回数 600 回 	<p>【発達障がいに関する情報提供】 保護者の発達障がいに関する理解を深めるため、情報提供を実施した。</p> <p>●各施設における情報提供の実施状況 【幼保ス】 次の項目のうち、どれだけ取り組んだか。 <u>アンケート項目</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全保護者に子どもの持つ困り感についての話をを行った。 (9%) ・必要な保護者に個別対応で情報提供を行った。 (94%) ・園内にポスター・パンフレット等を置いた。 (72%) ・市の相談窓口一覧を掲示した。 (38%) <table border="1" data-bbox="1308 616 1966 738"> <tr> <td>ス</td> <td>3つ以上</td> <td>1つ～2つ</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>13 (41%)</td> <td>19 (59%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>16 (52%)</td> <td>14 (45%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> </table>	ス	3つ以上	1つ～2つ	なし	R3	13 (41%)	19 (59%)	なし	R2	16 (52%)	14 (45%)	1 (3%)
ス	3つ以上	1つ～2つ	なし											
R3	13 (41%)	19 (59%)	なし											
R2	16 (52%)	14 (45%)	1 (3%)											
④発達支援コーディネーターを中心としたサポート体制の確立 (強化)	<p>【 発達支援コーディネーター研修の実施、活動への支援 】 支援の必要に早期に気づき適切な支援につなげていく「発達支援コーディネーター」の養成と当該職員の知見の向上を図るため研修を実施した。</p> <p>●発達支援コーディネーター研修</p> <p>○基礎編 (全2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対 象 各施設の発達支援コーディネーター新規養成希望者 ・期 日 5/31、6/4 ・内 容 発達支援コーディネーターの役割、小学校就学までの流れの理解、気になる子どもの支援、年中児発達参観の流れ等 ・講 師 教育委員会職員 ・参加者 延べ47人 <p>○応用編 (全2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対 象 各施設の発達支援コーディネーター養成希望者、希望する現発達支援コーディネーター ・期 日 1/26 (オンライン開催) ・講 師 臨床心理士 渡邊 弥生 氏 ・内 容 「保護者理解と支援」 	<p>【支援コーディネーターの活動の実践及び発達支援コーディネーターを中心とした園内・関係機関との連携】 支援の必要な子どもの個性や特性を把握し、担任や保護者による適切な関わりのサポートと関係機関等への連携に努めた。 【幼保セ】 発達支援コーディネーターとしての次の取組のうちどれだけ実施したか。</p> <p><u>アンケート項目</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「園内の連携を推進するための調整や研修の企画、運営を行った」 (31%) ・「保護者の相談窓口になった。」 (81%) ・「教育委員会等関係機関との連携窓口になった。」 (63%) ・「担任保育者への支援を行った。」 (81%) <table border="1" data-bbox="1301 1257 1980 1380"> <tr> <td>セ</td> <td>3つ以上</td> <td>1つ～2つ</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>17 (53%)</td> <td>15 (47%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>17 (55%)</td> <td>14 (45%)</td> <td>なし</td> </tr> </table>	セ	3つ以上	1つ～2つ	なし	R3	17 (53%)	15 (47%)	なし	R2	17 (55%)	14 (45%)	なし
セ	3つ以上	1つ～2つ	なし											
R3	17 (53%)	15 (47%)	なし											
R2	17 (55%)	14 (45%)	なし											

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在) 及びアンケート結果												
	<ul style="list-style-type: none"> ・期 日 3/2 (オンライン開催) ・講 師 新潟大学教職大学院教授 長澤 正樹 氏 ・内 容 「特別な支援を要する幼児への関わり」 ・参加者 延べ48人 <p>●発達支援コーディネーターの支援 保健師、臨床心理士による保育所(園)等の訪問時などに児童への対応や保護者支援について発達支援コーディネーターと一緒に検討し、必要に応じて助言を行う。</p>	<p>【考察】 発達支援コーディネーターが中心となり、支援が必要な子どもの育ちや個性等を把握し、担任や保護者が適切に関わることができるようなサポート体制が確立している。研修については、発達支援コーディネーター研修を通して保育者のスキルアップを図っていく。</p>												
<p>⑤ユニバーサルデザインの視点に立った保育環境の構成(強化)</p>	<p>【ユニバーサルデザインに関する研修の実施、並びに研修会等の情報提供】 ユニバーサルデザインに関し、幼稚園、保育所(園)への研修会、情報提供等を実施した。</p> <p>●ユニバーサルデザインに関する研修会等の情報提供及び、研修の実施 ○発達支援コーディネーター研修での啓発 ・研修の中でユニバーサルデザインについて講義を実施。</p> <p>●教育委員会(小中一貫教育推進課)が実施する特別支援教育研修会への参加促進 ○発達支援セミナー開催(YouTubeによる動画配信) ・配信期間 8/5～8/25 ・講 師 明蓬館高等学校 共有コーディネーター 南雲 明彦 氏 ・演 題 「LDは僕のID」 ～字が読めないことで見えてくる風景～ ・対 象 幼稚園・保育所(園)等の保育者、学校職員等 ・参加者 214人</p>	<p>【ユニバーサルデザインの視点に立った保育環境の形成】 支援が必要な子どもにとって過ごしやすい環境は、多くの子どもにとっても過ごしやすい環境であるという認識の下、保育環境の工夫を実践した。</p> <p>[幼保ソ] 次の取組の中でどれだけ実施したか。 アンケート項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中して話が聞けるよう、保育者の背後の壁面等に配慮した。(75%) ・園内の生活習慣や一日の流れについて視覚的支援を行った。(78%) ・大きな音(太鼓演奏や机をひきずる音など)に対し配慮した。(38%) ・施設内でユニバーサルデザインの工夫(環境構成・話し方等)に係る話合いの場を持った。(47%) <table border="1" data-bbox="1290 1070 2119 1193"> <tr> <td>ソ</td> <td>3つ以上</td> <td>1つ～2つ</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>15 (47%)</td> <td>16 (50%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>19 (61%)</td> <td>11 (35%)</td> <td>1 (4%)</td> </tr> </table> <p>【考察】 保育環境の中で、ユニバーサルな複数の取組を実施している施設が増えている。今後も研修会等への参加を促し、子どもにとって過ごしやすい環境作りを進めていく。</p>	ソ	3つ以上	1つ～2つ	なし	R3	15 (47%)	16 (50%)	1 (3%)	R2	19 (61%)	11 (35%)	1 (4%)
ソ	3つ以上	1つ～2つ	なし											
R3	15 (47%)	16 (50%)	1 (3%)											
R2	19 (61%)	11 (35%)	1 (4%)											

施策(3) 教職員の資質や専門性の向上

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在) 及びアンケート結果												
<p>①資質・専門性の向上のための研修の充実(継続)</p>	<p>【資質向上のための研修会の開催】 職員の資質・専門性を図るため、研修会等を実施した。</p> <p>○新潟大学附属幼稚園・長岡市・三条市合同研修会実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 6/17、11/4、2/3 (オンライン開催) ・指導者 東京大学大学院教育学研究科 客員教授 秋田 喜代美 氏 東京大学発達保育実践政策学センター 副センター長 浅井 幸子 氏 センター教員 野澤 祥子 氏 ・内 容 各園の研修システムの改善と構築を通して保育の質の向上を図る。 ・対 象 保育の中心的役割を担う保育者 ・参加者 公立9施設 10人、私立10施設 11人 <p>○保育者実践力向上研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 7/12 ・講 師 新潟大学附属幼稚園教諭 ・内 容 「これからの幼児教育と保育者の力量形成 遊びを通した子どもの育ちを考える」 ・対 象 主事、主任級保育士、希望する保育者 ・参加者 22人(各施設1人) <p>●園内研修及び自主研修への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○三条市保育研究会(5歳児部会)の実施支援 ○研修会等の情報提供及び参加集約 <ul style="list-style-type: none"> ・新潟大学附属幼稚園「保育のとびら」公開保育(オンライン)案内 ・市主催研修会で使用した保育動画、資料を貸し出し園内研修で活用 ・自主研修を行う際の講師の紹介 	<p>【研修内容を活かした教育・保育活動の実施】 事例検討等の園内研修や自主研修を実施し一人一人の専門性を高めるとともに、園全体の課題を明確にし、活動内容や指導計画を見直した。</p> <p>●園内研修の工夫等 【幼保タ】 次の取組の中でどれだけ実施したか。 アンケート項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内で公開保育を実施した。(28%) ・各種の園内研修を行った。(84%) ・各種の園外研修に参加した。(84%) ・園外研修で学んだことを園内で共有した。(88%) <table border="1" data-bbox="1290 751 2119 874"> <thead> <tr> <th>タ</th> <th>3つ以上</th> <th>1つ～2つ</th> <th>なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>25 (78%)</td> <td>7 (22%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>17 (55%)</td> <td>14 (45%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	タ	3つ以上	1つ～2つ	なし	R3	25 (78%)	7 (22%)	なし	R2	17 (55%)	14 (45%)	なし
タ	3つ以上	1つ～2つ	なし											
R3	25 (78%)	7 (22%)	なし											
R2	17 (55%)	14 (45%)	なし											

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及び施設アンケート結果									
②一人一人の特性に応じた幼児教育の実施(継続)	<p>【教育・保育活動に関する研修会等の情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門性の向上を目的とした研修の情報提供及び参加とりまとめ等を行った。 	<p>【研修内容を活かした教育・保育活動の実施】</p> <p>一人一人の子どもの特性を理解することで子どもの思いに共感しつつ、保育の経過記録に記し保育活動に活用した。</p> <p>●教育・保育活動の状況</p> <p>[幼保チ] 担任や加配保育士(80%以上)は日々の子どもの様子をメモしていたか。</p> <table border="1" data-bbox="1305 491 1917 612"> <thead> <tr> <th>チ</th> <th>取っていた</th> <th>取っていなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>30 (94%)</td> <td>2 (6%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>26 (84%)</td> <td>5 (16%)</td> </tr> </tbody> </table>	チ	取っていた	取っていなかった	R3	30 (94%)	2 (6%)	R2	26 (84%)	5 (16%)
チ	取っていた	取っていなかった									
R3	30 (94%)	2 (6%)									
R2	26 (84%)	5 (16%)									
③保護者との信頼関係の構築(継続)	<p>【保護者支援に関する研修等の情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者支援に係る研修等の情報提供及び参加とりまとめ等を行った。 	<p>【研修内容を活かした保護者支援の実施】</p> <p>子どもの様子を的確に把握し保護者に伝えるとともに、悩んでいる保護者の話を聞き適切なアドバイスを行うよう努めた。</p> <p>●教育・保育活動の状況</p> <p>[幼保ツ] 保育者(80%以上)は、保護者に対して適切な対応を行っていたか。</p> <table border="1" data-bbox="1301 948 1912 1069"> <thead> <tr> <th>ツ</th> <th>行っていた</th> <th>行っていなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>30 (94%)</td> <td>2 (6%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>31 (100%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	ツ	行っていた	行っていなかった	R3	30 (94%)	2 (6%)	R2	31 (100%)	なし
ツ	行っていた	行っていなかった									
R3	30 (94%)	2 (6%)									
R2	31 (100%)	なし									

施策(4) 信頼される幼稚園・保育所(園)づくり

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及びアンケート結果																								
<p>①評価サイクルによる保育所評価の実施(強化)</p>	<p>【保育所評価の着実な実施に対する支援】 評価、公表を行っていくことが保護者との信頼関係やより良い保育所運営と結びつくため、引き続き、着実に評価、改善を行うよう働きかけを行った。 ●保育所評価の実施支援(2月) ●令和3年度評価結果についてホームページにおいて公表</p>	<p>【保育所評価の着実な実施と公表】 評価結果を基に、職員自身や幼稚園・保育所(園)等の教育、保育活動を振り返り評価し、その結果と改善策を公表するとともに、日頃の保育活動に活かした。</p> <p>●保育所評価の活用 【幼保テ】 PDCAサイクルを確立し、保育所評価を行った。</p> <table border="1" data-bbox="1290 555 1899 679"> <thead> <tr> <th>テ</th> <th>実施した</th> <th>実施しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>29 (91%)</td> <td>3 (9%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>27 (90%)</td> <td>3 (10%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【幼保ト】 評価結果を第三者委員や保護者に公表し、日頃の教育・保育活動に活かした。 ※ 上記で「実施した」を選んだ施設のみ回答</p> <table border="1" data-bbox="1290 836 1995 999"> <thead> <tr> <th>ト</th> <th>結果及び対応策を公表</th> <th>結果のみ公表</th> <th>公表なし</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>25 (86%)</td> <td>3 (10%)</td> <td>1 (4%)</td> <td>29園中</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>25 (92%)</td> <td>1 (4%)</td> <td>1 (4%)</td> <td>27園中</td> </tr> </tbody> </table> <p>【考察】 評価結果の公表を行うことが保護者との信頼関係や各施設の幼児教育内容の充実につながっていくことを伝えながら、評価の取組が進んでいない施設に対して働きかけを行っていく。</p>	テ	実施した	実施しなかった	R3	29 (91%)	3 (9%)	R2	27 (90%)	3 (10%)	ト	結果及び対応策を公表	結果のみ公表	公表なし		R3	25 (86%)	3 (10%)	1 (4%)	29園中	R2	25 (92%)	1 (4%)	1 (4%)	27園中
テ	実施した	実施しなかった																								
R3	29 (91%)	3 (9%)																								
R2	27 (90%)	3 (10%)																								
ト	結果及び対応策を公表	結果のみ公表	公表なし																							
R3	25 (86%)	3 (10%)	1 (4%)	29園中																						
R2	25 (92%)	1 (4%)	1 (4%)	27園中																						

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及びアンケート結果									
②「保護者先生体験」の実施(継続)	<p>【「保護者先生体験」の実施への支援】</p> <p>保育所(園)等における「保護者先生体験」の実施について、アドバイスの支援を行った。</p> <p>※「保護者先生体験」：保護者の希望を募り、保育者(先生)を体験していただくもの</p> <p>・令和3年度の実施状況をアンケートにより把握(2月～3月)</p>	<p>【「保護者先生体験」の実施】</p> <p>「保護者先生体験」により、保護者に保育所(園)での日頃の活動や保育者の関わりを体験していただき、保護者との信頼関係の深化につなげた。</p> <p>[幼保ナ] 「保護者先生体験」に参加した保護者の延べ人数 R3 : 76人(実施7施設) R2 : 102人</p>									
③学校評議員制度や苦情処理制度の活用(継続)	<p>【苦情処理体制整備への支援】</p> <p>○苦情処理制度の体制の整備</p> <p>・令和3年度の実施状況をアンケートにより把握(2月～3月)</p>	<p>【苦情処理体制の整備】</p> <p>保護者からの意見、要望及び苦情に対し適切な対応ができるよう受付窓口を設け、相談責任者、担当者等の体制を保護者に周知した。</p> <p>[幼保二] 学校評議員制度や苦情処理制度を活用し保護者等の意見を聞いたか。</p> <table border="1" data-bbox="1290 715 1899 839"> <thead> <tr> <th data-bbox="1290 715 1368 754">二</th> <th data-bbox="1368 715 1632 754">聞いている</th> <th data-bbox="1632 715 1899 754">聞いていない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1290 754 1368 799">R3</td> <td data-bbox="1368 754 1632 799">26 (82%)</td> <td data-bbox="1632 754 1899 799">6 (18%)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1290 799 1368 839">R2</td> <td data-bbox="1368 799 1632 839">22 (79%)</td> <td data-bbox="1632 799 1899 839">6 (21%)</td> </tr> </tbody> </table>	二	聞いている	聞いていない	R3	26 (82%)	6 (18%)	R2	22 (79%)	6 (21%)
二	聞いている	聞いていない									
R3	26 (82%)	6 (18%)									
R2	22 (79%)	6 (21%)									

《重点項目2》 幼稚園・保育所（園）等と小学校の連携の推進

施策(1) 確実な引継ぎ・継続的な支援

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在) 及び施設アンケート結果																																	
①個別の発達支援計画等の活用(強化)	<p>●小学校等訪問及びアンケートによる「個別の発達支援計画」の引継ぎ・状況把握 小学校や保育所(園)等に対し、訪問やアンケートにより状況把握を実施する中で、「個別の発達支援計画」やその活用に係る、幼小・保小等の接続期のスムーズな引継ぎが図られるよう促した。</p> <p>○接続期における小学校訪問・情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象児童数 新1年生 682人 訪問時期 6月～7月 訪問校 市内全小学校、義務教育学校、特別支援学校 訪問者 指導主事、発達ルーム専任指導員、児童クラブ推進員、幼保小連携推進員、幼児施設職員 <p>○接続期における幼稚園・保育所(園)等訪問・情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象児数 年長児 668人 訪問時期 10月～2月 訪問施設 全幼児施設 32施設 訪問者 指導主事、地区担当保健師、発達ルーム専任指導員、児童クラブ推進員、幼保小連携推進員 <p>○「個別の発達支援計画」の引継ぎ状況の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育所(園)等から、小学校へ「個別の発達支援計画」の報告書の提出 状況把握(3月) 	<p>【「個別の発達支援計画」の引継ぎ、活用】</p> <p>支援が必要な子どもについて、「個別の発達支援計画」を引き継ぐことで、幼児期において受けた支援をスムーズに小学校等に引き継ぎ、継続的な支援につなげることに努めた。</p> <p>●「個別の支援計画」の引継ぎ</p> <p>[幼保又] 「個別の支援計画」を小学校に送付するとともに、情報交換会等で子どもの引継ぎを確実に行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>又</th> <th>行った</th> <th>行わなかった</th> <th>(要支援児の在籍施設)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>30 (100%)</td> <td>なし</td> <td>30園中</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>29 (100%)</td> <td>なし</td> <td>29園中</td> </tr> </tbody> </table> <p>[小学ア] 今年度の1年生に「個別の支援計画」作成児がいたか。</p> <p>※ 特別支援学級も含む。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ア</th> <th>作成児がいた</th> <th>いなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>18 (90%)</td> <td>2 (10%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>14 (70%)</td> <td>6 (30%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>●「個別の発達支援計画」の活用</p> <p>[小学イ] どの子が支援児であるか知っている。</p> <p>※ 作成児在籍小学校のみ回答</p> <p>アンケート項目</p> <p>A：担任のほか、1学年に携わる職員、管理職、コーディネーターなど複数の職員が知っている。(100%)</p> <p>B：担任のほか、1学年に携わる職員が知っている。(0%)</p> <p>C：担任のみが知っている。(0%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>イ</th> <th>複数職員が知っている</th> <th>1学年職員</th> <th>担任のみ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>18 (100%)</td> <td>なし</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>13 (93%)</td> <td>1 (7%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	又	行った	行わなかった	(要支援児の在籍施設)	R3	30 (100%)	なし	30園中	R2	29 (100%)	なし	29園中	ア	作成児がいた	いなかった	R3	18 (90%)	2 (10%)	R2	14 (70%)	6 (30%)	イ	複数職員が知っている	1学年職員	担任のみ	R3	18 (100%)	なし	なし	R2	13 (93%)	1 (7%)	なし
又	行った	行わなかった	(要支援児の在籍施設)																																
R3	30 (100%)	なし	30園中																																
R2	29 (100%)	なし	29園中																																
ア	作成児がいた	いなかった																																	
R3	18 (90%)	2 (10%)																																	
R2	14 (70%)	6 (30%)																																	
イ	複数職員が知っている	1学年職員	担任のみ																																
R3	18 (100%)	なし	なし																																
R2	13 (93%)	1 (7%)	なし																																

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在) 及びアンケート結果																					
	<p>●新保育要録作成・送付の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育所長、保育園長会議にて説明 (9月) ○全施設に資料送付 ○要録の作成に当たり記入方法や就学先との調整について助言 (2～3月) 	<p>幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在) 及びアンケート結果</p> <p>[小学ウ] 次の取組みの中でどれだけ実施したか。 ※ 特別支援学級での活用含める</p> <p>アンケート項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級編制の参考資料にした。(44%) ・担任等が作成児に関わる際の参考にした。(100%) ・担任が学級経営等の参考にした。(100%) ・保護者との面談で使用了。(28%) ・小学校等での個別の教育支援計画・個別の指導計画作成時に参考にした。(78%) <table border="1" data-bbox="1323 596 2056 719"> <tr> <td>ウ</td> <td>3つ以上</td> <td>1～2つ</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>17 (94%)</td> <td>1 (6%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>12 (85%)</td> <td>2 (15%)</td> <td>なし</td> </tr> </table> <p>子ども一人一人の成長を振り返り、「幼児期に育てほしい姿(10の姿)」の中で最終学年の1年間で成長した点や小学校で更に伸ばしてほしい部分を記載し、小学校に送付した。</p> <p>●新様式による要録作成</p> <p>[幼保ネ] 新様式、新作成方法に基づいて要録を作成し、小学校等に確実に送付したか。</p> <table border="1" data-bbox="1317 1034 2007 1157"> <tr> <td>ネ</td> <td>行った</td> <td>行わなかった</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>32 (100%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>31 (100%)</td> <td>なし</td> </tr> </table> <p>【考察】 今後も支援が必要な子どもについて、「個別の発達支援計画」を引き継ぐことで、幼児期に受けていた支援が小学校等への継続的な支援へとスムーズにつなげることができるよう努める。</p>	ウ	3つ以上	1～2つ	なし	R3	17 (94%)	1 (6%)	なし	R2	12 (85%)	2 (15%)	なし	ネ	行った	行わなかった	R3	32 (100%)	なし	R2	31 (100%)	なし
ウ	3つ以上	1～2つ	なし																				
R3	17 (94%)	1 (6%)	なし																				
R2	12 (85%)	2 (15%)	なし																				
ネ	行った	行わなかった																					
R3	32 (100%)	なし																					
R2	31 (100%)	なし																					

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況 (3/31 現在) 及びアンケート結果																		
②三条市子ども・若者サポートシステムの啓発 (継続)	<p>【三条市子ども・若者総合サポートシステムの普及・啓発】</p> <p>●三条市子ども・若者総合サポート会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表者会議 1回 ・実務者会議 虐待防止部会：5回 障がい支援部会：1回 若者支援部会：1回 問題行動対応部会：0回 (紙面での意見収集を実施) <p>・個別のケース検討会議 56回</p> <p>・就学児健診、中学校入学説明会での説明</p> <p>・校長会での周知</p> <p>・高校への説明</p>	<p>【三条市子ども・若者総合サポートシステムにおける情報提供等】</p> <p>保護者に三条市子ども・若者総合サポートシステムの情報提供を実施した。また、保護者が集まる機会に、同システムについて説明を行い利用方法等の周知を行った。</p> <p>●三条市子ども・若者総合サポートシステムの情報提供</p> <p>[幼保ノ] 幼稚園・保育所(園)で情報提供を行った。</p> <table border="1" data-bbox="1301 488 1921 611"> <thead> <tr> <th>ノ</th> <th>行った</th> <th>行わなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>29 (91%)</td> <td>3 (9%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>28 (93%)</td> <td>2 (7%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[小学エ] 小学校で情報提供を行った。</p> <table border="1" data-bbox="1305 676 1924 799"> <thead> <tr> <th>エ</th> <th>行った</th> <th>行わなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>17 (85%)</td> <td>3 (15%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>16 (80%)</td> <td>4 (20%)</td> </tr> </tbody> </table>	ノ	行った	行わなかった	R3	29 (91%)	3 (9%)	R2	28 (93%)	2 (7%)	エ	行った	行わなかった	R3	17 (85%)	3 (15%)	R2	16 (80%)	4 (20%)
ノ	行った	行わなかった																		
R3	29 (91%)	3 (9%)																		
R2	28 (93%)	2 (7%)																		
エ	行った	行わなかった																		
R3	17 (85%)	3 (15%)																		
R2	16 (80%)	4 (20%)																		

施策(2) 交流活動の推進

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在) 及びアンケート結果																														
① 幼保小連携活動の支援（継続）	<p>●幼保小・職員交流活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交流活動報告書作成・配布 ○交流活動計画書とりまとめ ○交流活動実施の際のバス運行調整 <ul style="list-style-type: none"> ・計画していた活動の中止や感染症対策についての相談支援（10月に中間報告にて把握する。） ・実施状況を報告書により把握（3月） ○交流活動訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・10/28 須頃保育所にて大島小1年生「音読劇」発表 ・11/19 一ノ木戸小「ようこそ年長さんパート1」 	<p>【幼保小・幼保・保保・職員交流活動の充実】</p> <p>子ども達が意欲や期待を持って、小学校に入学できるよう、幼保小連携会議の中で、幼保小交流活動、幼保、保保交流の取組について話し合いを行い活動の充実を図ることに努めた。</p> <p>●幼保小・幼保・職員交流活動の充実</p> <p>【幼保ハ】 前年度の交流活動の課題に対する改善を行ったか。</p> <table border="1" data-bbox="1279 555 1883 679"> <thead> <tr> <th>ハ</th> <th>改善した</th> <th>改善しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>26 (87%)</td> <td>4 (13%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>20 (69%)</td> <td>9 (31%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【小学オ】 前年度の交流活動の課題に対する改善を行ったか。</p> <table border="1" data-bbox="1279 756 1883 880"> <thead> <tr> <th>オ</th> <th>改善した</th> <th>改善しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>17 (85%)</td> <td>3 (15%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>12 (60%)</td> <td>8 (40%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>●幼保小、幼保、保保交流活動の実施</p> <p>【幼保ヒ】 交流活動によって見られるようになった子どもの姿（次の項目のうちどれだけ該当するか。）</p> <p>アンケート項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが小学校等入学を楽しみにするようになった。(94%) ・顔見知りが増え、友達との関係づくりに積極性が出てきた。(45%) ・自分のことは自分でしょうという自発性が出てきた。(65%) ・知的好奇心が育ってきた。(36%) <table border="1" data-bbox="1279 1235 1973 1359"> <thead> <tr> <th>ヒ</th> <th>3つ以上</th> <th>1～2つ</th> <th>なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>16 (50%)</td> <td>15 (47%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>13 (45%)</td> <td>7 (24%)</td> <td>9 (31%)</td> </tr> </tbody> </table>	ハ	改善した	改善しなかった	R3	26 (87%)	4 (13%)	R2	20 (69%)	9 (31%)	オ	改善した	改善しなかった	R3	17 (85%)	3 (15%)	R2	12 (60%)	8 (40%)	ヒ	3つ以上	1～2つ	なし	R3	16 (50%)	15 (47%)	1 (3%)	R2	13 (45%)	7 (24%)	9 (31%)
ハ	改善した	改善しなかった																														
R3	26 (87%)	4 (13%)																														
R2	20 (69%)	9 (31%)																														
オ	改善した	改善しなかった																														
R3	17 (85%)	3 (15%)																														
R2	12 (60%)	8 (40%)																														
ヒ	3つ以上	1～2つ	なし																													
R3	16 (50%)	15 (47%)	1 (3%)																													
R2	13 (45%)	7 (24%)	9 (31%)																													

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及びアンケート結果																								
②幼保小連携合同会議の開催 (継続)	<p>●連携合同実務者会議の開催</p> <p>○第1回連携合同実務者会議 5/20、5/21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会 場 栄庁舎3階ホール、大会議室 ・内 容 令和3年度幼保小連携の取り組みについて 令和3年度交流活動の計画立案について ・参加者 幼児施設、小・義務教育学校等連携実務者 <p>○第2回連携合同実務者会議 3/4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・双方型オンライン会議 ・内 容 令和3年度三条市の幼保小連携の取り組み状況について (好事例の紹介) 「三条市幼児教育推進プラン(第2次)」 進捗管理アンケートについて 令和3年度の交流活動の反省点及び令和4年度の計画立案について ・参加者 幼児施設、小・義務教育学校等連携実務者 	<p>幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及びアンケート結果</p> <p>[小学力] 交流活動によって見られるようになった子どもの姿 (次の項目のうちどれだけ該当するか。)</p> <p><u>アンケート項目</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児と触れ合い、児童の思いやりの心が育った。(68%) ・顔見知りが増え、友だちとの関係づくりに積極性が出てきた(21%) ・小学生としての自覚が育ってきた。(95%) ・自信を持ち、積極的な行動が見られるようになった。(79%) ・普段と違う児童の姿が見られた。(68%) <table border="1" data-bbox="1279 517 2018 639"> <tr> <td>カ</td> <td>3つ以上</td> <td>1～2つ</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>16 (80%)</td> <td>3 (15%)</td> <td>1 (5%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>10 (50%)</td> <td>5 (25%)</td> <td>5 (25%)</td> </tr> </table> <p>●職員交流活動の充実</p> <p>[幼保フ] 交流活動の成果(次の項目のうちどれだけ該当するか。)</p> <p><u>アンケート項目</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育や学校教育の違いや内容を知ることができた。(63%) ・他施設や小学校等の行事等について知ることができた。(47%) ・小学校等への子どもの情報の引継ぎがしやすくなった。(83%) ・接続期の教育を意識し、実践した。(73%) <table border="1" data-bbox="1279 956 1962 1078"> <tr> <td>フ</td> <td>3つ以上</td> <td>1～2つ</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>20 (63%)</td> <td>10 (31%)</td> <td>2 (6%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>14 (47%)</td> <td>9 (30%)</td> <td>7 (23%)</td> </tr> </table> <p>[小学キ] 交流活動の成果(次の項目のうちどれだけ該当するか。)</p> <p><u>アンケート項目</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育と学校教育の違いや内容を知ることができた。(65%) ・他園や他校の行事等について知ることができた。(35%) ・他園や他校の教職員と親しくなれた。(50%) ・保護者の家庭環境等の情報を知ることができた。(90%) ・気になる子の対応の仕方を知ることができた。(100%) ・接続期の教育を意識し、実践した。(45%) 	カ	3つ以上	1～2つ	なし	R3	16 (80%)	3 (15%)	1 (5%)	R2	10 (50%)	5 (25%)	5 (25%)	フ	3つ以上	1～2つ	なし	R3	20 (63%)	10 (31%)	2 (6%)	R2	14 (47%)	9 (30%)	7 (23%)
カ	3つ以上	1～2つ	なし																							
R3	16 (80%)	3 (15%)	1 (5%)																							
R2	10 (50%)	5 (25%)	5 (25%)																							
フ	3つ以上	1～2つ	なし																							
R3	20 (63%)	10 (31%)	2 (6%)																							
R2	14 (47%)	9 (30%)	7 (23%)																							

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及びアンケート結果															
		<table border="1" data-bbox="1323 220 2058 341"> <tr> <td>キ</td> <td>3つ以上</td> <td>1～2つ</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>20 (100%)</td> <td>なし</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>16 (80%)</td> <td>3 (15%)</td> <td>1 (5%)</td> </tr> </table> <p data-bbox="1263 363 1344 395">【考察】</p> <ul data-bbox="1283 403 2134 667" style="list-style-type: none"> ・昨年度と同様に交流活動は中止期間や制限がある中、課題の改善をして、実施率や成果をあげている。 ・就学前の情報交換や引継ぎは確実に行われていた。 ・子どもの姿からは、幼児は「学校入学を楽しみにするようになった」小学児童は「自覚や自信をもつことができた」等の成果があった。 ・職員間では、引継ぎがしやすくなったことや、気になる子の対応の仕方を知ることができるなどの成果があった。 				キ	3つ以上	1～2つ	なし	R3	20 (100%)	なし	なし	R2	16 (80%)	3 (15%)	1 (5%)
キ	3つ以上	1～2つ	なし														
R3	20 (100%)	なし	なし														
R2	16 (80%)	3 (15%)	1 (5%)														

施策(3) 育ちのつながりを意識した指導

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在) 及びアンケート結果																																				
<p>①保育参観・授業参観の充実(強化)</p>	<p>●保育参観・授業参観の実施促進</p> <p>○各施設の活動計画一覧表を配布し交流活動の啓発、促進を行う。</p> <p>○小学校教員の「保育者体験」、保育者の「小学校教諭体験」の実施状況の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参観時の訪問をして、実施状況の把握をする。 <p>7/30 「保育者体験」千代が丘保育所 (笹岡小学校、長沢小学校、大浦小学校)</p> <p>10/8 「乗り入れ授業」森町小学校 (あらさわ保育園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の実施状況をアンケートにより把握(3月) 	<p>【保育参観・授業参観の実施】</p> <p>保育参観・授業参観や保育士体験・小学校教諭体験を通してそれぞれの特質(生活リズム、学び方等)を理解し、日々の活動に活かすよう努めた。</p> <p>●保育参観・授業参観の実施</p> <p>[幼保へ] 職員が小学校の授業参観をした。</p> <p>※ 引継ぎのための1年生の授業参観を含む</p> <table border="1" data-bbox="1279 555 1921 679"> <thead> <tr> <th>へ</th> <th>参観した</th> <th>しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>24 (75%)</td> <td>8 (25%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>21 (70%)</td> <td>9 (30%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[小学ク] 幼稚園・保育所(園)等の教育、保育を参観したか。</p> <p>※ 引継ぎのための保育参観含む。</p> <table border="1" data-bbox="1279 799 1921 924"> <thead> <tr> <th>ク</th> <th>行った</th> <th>行わなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>16 (80%)</td> <td>4 (20%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>12 (60%)</td> <td>8 (40%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[幼保ホ] 職員が小学校の授業に参加・参画したか。</p> <p>※ 小学校との合同授業含む。</p> <table border="1" data-bbox="1279 1043 1921 1168"> <thead> <tr> <th>ホ</th> <th>参加・参画した</th> <th>参加・参画しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>15 (47%)</td> <td>17 (53%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>9 (29%)</td> <td>22 (71%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[小学ケ] 小学校等職員が、保育者体験を行った。</p> <table border="1" data-bbox="1279 1243 1921 1367"> <thead> <tr> <th>ケ</th> <th>行った</th> <th>行わなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>7 (35%)</td> <td>13 (65%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>5 (25%)</td> <td>15 (75%)</td> </tr> </tbody> </table>	へ	参観した	しなかった	R3	24 (75%)	8 (25%)	R2	21 (70%)	9 (30%)	ク	行った	行わなかった	R3	16 (80%)	4 (20%)	R2	12 (60%)	8 (40%)	ホ	参加・参画した	参加・参画しなかった	R3	15 (47%)	17 (53%)	R2	9 (29%)	22 (71%)	ケ	行った	行わなかった	R3	7 (35%)	13 (65%)	R2	5 (25%)	15 (75%)
へ	参観した	しなかった																																				
R3	24 (75%)	8 (25%)																																				
R2	21 (70%)	9 (30%)																																				
ク	行った	行わなかった																																				
R3	16 (80%)	4 (20%)																																				
R2	12 (60%)	8 (40%)																																				
ホ	参加・参画した	参加・参画しなかった																																				
R3	15 (47%)	17 (53%)																																				
R2	9 (29%)	22 (71%)																																				
ケ	行った	行わなかった																																				
R3	7 (35%)	13 (65%)																																				
R2	5 (25%)	15 (75%)																																				

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及びアンケート結果																		
		<p>幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及びアンケート結果</p> <p>【幼保マ】 保育参観の案内をした。</p> <table border="1" data-bbox="1279 240 1921 363"> <tr> <td>マ</td> <td>案内した</td> <td>案内しなかった</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>23 (72%)</td> <td>9 (28%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>23 (77%)</td> <td>7 (23%)</td> </tr> </table> <p>【小学コ】 保育者が1年間継続して授業参観を行える体制がとれたか。 ※ 授業参観の案内を出す、園からの要望に応じて授業参観を行う等</p> <table border="1" data-bbox="1279 483 1921 606"> <tr> <td>コ</td> <td>行った</td> <td>行わなかった</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>14 (70%)</td> <td>6 (30%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>11 (55%)</td> <td>9 (45%)</td> </tr> </table> <p>【考察】 幼保小の施設間での準備体制はできていたものの、新型コロナウイルス拡大防止のため、全てを実施することができなかったが、引継ぎのための保育参観は実施率が上がっている。 今後も施設間での情報共有など連携を強化し、実施できるように推進していく。</p>	マ	案内した	案内しなかった	R3	23 (72%)	9 (28%)	R2	23 (77%)	7 (23%)	コ	行った	行わなかった	R3	14 (70%)	6 (30%)	R2	11 (55%)	9 (45%)
マ	案内した	案内しなかった																		
R3	23 (72%)	9 (28%)																		
R2	23 (77%)	7 (23%)																		
コ	行った	行わなかった																		
R3	14 (70%)	6 (30%)																		
R2	11 (55%)	9 (45%)																		
<p>②「安心わくわくプログラム」「スタートカリキュラム」の活用(強化)</p>	<p>●「安心わくわくプログラム」「スタートモデルカリキュラム」等の活用推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「安心わくわくプログラム」の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・7/15 三条市保育研究会(5歳児部会) <ul style="list-style-type: none"> テーマ「就学前に育てたい力を考える」において「安心わくわくプログラム」の実践例を活用し研修する。 ○新学習指導要領に合わせ見直した「令和2年度版スタートモデルカリキュラム」の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校訪問、保育所訪問で幼保小連携推進員が環境設定、活動内容について把握 	<p>【「安心わくわくプログラム」及び「スタートモデルカリキュラム」の活用】</p> <p>年長児担任及び1年生担任は、「安心わくわくプログラム」及び「スタートモデルカリキュラム」を活用し、幼保小の接続期の活動の充実に努めた。</p> <p>※「接続期」：年長児の1月から3月まで、及び小学校の入学後の4月から6月まで。つながりを意識して丁寧な指導を実施する時期</p>																		

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及びアンケート結果																																																
	<p>●「安心わくわくプログラム」「スタートモデルカリキュラム」等の活用状況把握</p> <p>・見直し後のスタートモデルカリキュラムの活用状況をアンケートにより確認 (3月)</p>	<p>●「安心わくわくプログラム」「スタートモデルカリキュラム」の活用状況</p> <p>[幼保ミ] 職員への周知・研修を行ったか。</p> <table border="1" data-bbox="1263 320 2112 483"> <thead> <tr> <th>ミ</th> <th>全職員で行った</th> <th>年長児関係職員で行った</th> <th>行っていない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>1 (3%)</td> <td>28 (88%)</td> <td>3 (9%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>5 (16%)</td> <td>20 (65%)</td> <td>6 (19%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[小学サ] 職員への周知・研修を行ったか。</p> <table border="1" data-bbox="1274 563 2107 726"> <thead> <tr> <th>サ</th> <th>全職員で行った</th> <th>1年生担任、関係職員で行った</th> <th>行っていない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>3 (15%)</td> <td>14 (70%)</td> <td>3 (15%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1 (5%)</td> <td>18 (90%)</td> <td>1 (5%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[幼保ム] 年長児担任が接続期の取組において活用したか。</p> <table border="1" data-bbox="1274 805 2112 968"> <thead> <tr> <th>ム</th> <th>両方取り入れた</th> <th>安心わくわくプログラムを取り入れた</th> <th>取り入れなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>12 (38%)</td> <td>17 (53%)</td> <td>3 (9%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>8 (27%)</td> <td>21 (70%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[小学シ] 1年生担任が接続期の取組において活用したか。</p> <table border="1" data-bbox="1274 1048 2112 1219"> <thead> <tr> <th>シ</th> <th>両方取り入れた</th> <th>どちらか一方を取り入れた</th> <th>取り入れなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>11 (55%)</td> <td>7 (35%)</td> <td>2 (10%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>9 (45%)</td> <td>9 (45%)</td> <td>2 (10%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【考察】</p> <p>「安心わくわくプログラム」や「スタートモデルカリキュラム」は、接続期の活動について、実践例が具体的に示されている。活用を通してスムーズに就学に繋がったり、入学後に児童が安心して学校生活を送り、適応していけるよう配慮したりすることに繋がった。また接続期の見通</p>	ミ	全職員で行った	年長児関係職員で行った	行っていない	R3	1 (3%)	28 (88%)	3 (9%)	R2	5 (16%)	20 (65%)	6 (19%)	サ	全職員で行った	1年生担任、関係職員で行った	行っていない	R3	3 (15%)	14 (70%)	3 (15%)	R2	1 (5%)	18 (90%)	1 (5%)	ム	両方取り入れた	安心わくわくプログラムを取り入れた	取り入れなかった	R3	12 (38%)	17 (53%)	3 (9%)	R2	8 (27%)	21 (70%)	1 (3%)	シ	両方取り入れた	どちらか一方を取り入れた	取り入れなかった	R3	11 (55%)	7 (35%)	2 (10%)	R2	9 (45%)	9 (45%)	2 (10%)
ミ	全職員で行った	年長児関係職員で行った	行っていない																																															
R3	1 (3%)	28 (88%)	3 (9%)																																															
R2	5 (16%)	20 (65%)	6 (19%)																																															
サ	全職員で行った	1年生担任、関係職員で行った	行っていない																																															
R3	3 (15%)	14 (70%)	3 (15%)																																															
R2	1 (5%)	18 (90%)	1 (5%)																																															
ム	両方取り入れた	安心わくわくプログラムを取り入れた	取り入れなかった																																															
R3	12 (38%)	17 (53%)	3 (9%)																																															
R2	8 (27%)	21 (70%)	1 (3%)																																															
シ	両方取り入れた	どちらか一方を取り入れた	取り入れなかった																																															
R3	11 (55%)	7 (35%)	2 (10%)																																															
R2	9 (45%)	9 (45%)	2 (10%)																																															

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及びアンケート結果
		<p>しや活動予定を検討する中で活用されている。引き続き両プランを活用していただくよう各施設に周知等を行う必要がある。</p>

《重点項目3》 家庭への支援の充実

施策(1) 家庭の教育力の向上支援

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及びアンケート結果																		
<p>①家庭教育講座の充実(強化)</p>	<p>【保護者を対象とした講座実施への支援】</p> <p>「家庭教育講座」等の保護者を対象とした講座の実施を支援したほか、「眠育」の浸透、啓発を図った。</p> <p>●家庭教育講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所(園)等の3歳児保護者を対象に実施 17施設 (眠育講話 10施設 子育て講座 7施設) ・小学校等就学児健診を活用し実施 20校 ・中学校等入学・進級説明会を活用し実施 5校 <p>●小学校等入学予定児童の保護者に「わくわくチャレンジ」配布</p> <p>●ノーバディーズ・パーフェクト(NP)講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施概要 1講座8人、6回×5クール (参加者数18人) ・内容 乳幼児を持つ保護者の育児不安を軽減、児童虐待防止を図り、保護者同士の情報交換や仲間作りの支援 <p>●初めてのママ講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施概要 1講座8人 4回×6クール (参加者数38人) ・内容 初めて乳児を育てる保護者の育児不安を軽減、保護者同士の情報交換や仲間作りを支援 <p>【眠育推進事業】</p> <p>●眠育の啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リーフレットを活用しての啓発 (妊娠期) <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届時にリーフレットを配布 ・パパ手帳への眠育の掲載 (乳幼児期) <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診における問診アンケート実施による睡眠リズムの確認及びリーフレットを活用しての保健指導実施 	<p>【子どもの状況に合わせた講座の開催】</p> <p>園行事など保護者が集まる機会を活用し、子どもの成長に合わせた内容の講座を開催した。</p> <p>また、眠育の推進については、リーフレット配布による眠育啓発やモデル地区における睡眠調査の実施及び状況に応じた個別指導を行った。</p> <p>[幼保メ] 園独自の家庭教育講座(外部講師、園長、市職員等)を開催したか。</p> <table border="1" data-bbox="1281 673 1859 798"> <thead> <tr> <th>メ</th> <th>開催した</th> <th>しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>16 (50%)</td> <td>16 (50%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>11 (37%)</td> <td>19 (63%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ (市主催の家庭教育講座開催)</p> <table border="1" data-bbox="1281 836 1859 960"> <thead> <tr> <th>メ</th> <th>開催した</th> <th>しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>21 (66%)</td> <td>11 (34%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>14 (47%)</td> <td>16 (53%)</td> </tr> </tbody> </table>	メ	開催した	しなかった	R3	16 (50%)	16 (50%)	R2	11 (37%)	19 (63%)	メ	開催した	しなかった	R3	21 (66%)	11 (34%)	R2	14 (47%)	16 (53%)
メ	開催した	しなかった																		
R3	16 (50%)	16 (50%)																		
R2	11 (37%)	19 (63%)																		
メ	開催した	しなかった																		
R3	21 (66%)	11 (34%)																		
R2	14 (47%)	16 (53%)																		

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及びアンケート結果
	<p>(小中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校の新1年生及び教職員を対象にリーフレット説明・配布 <p>○絵本を活用した啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等及び小学校、子育て拠点施設に配布 ・図書館との連携 (H30年～眠育コーナーを設置) <p>○「眠育講話」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対 象 保育所(園)、幼稚園の年長児保護者 ・講 師 日本眠育推進協議会理事 石井 正文氏 ・内 容 小学校入学を見据えた眠育のすすめ ・実施施設数 29施設 (私立20 公立9 495人参加) <p>●眠育研修会</p> <p>○第1回眠育研修会【オンライン実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 8/10 ・対 象 市内全保育所等及び小中学校教職員 ・講 師 熊本大学名誉教授 三池 輝久氏 ・内 容 眠育の重要性について ・参加者 40人 <p>○第2回眠育研修会【オンライン実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 12/2 ・対 象 保育所等及び小中学校教職員(眠育調査実施施設) ・講 師 熊本大学名誉教授 三池 輝久氏 ・内 容 睡眠調査票の読取演習 ・参加者 24人 <p>○睡眠調査読取勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 6/9 ・対 象 保育所等及び小中学校教職員(睡眠調査実施施設) ・講 師 日本眠育推進協議会理事 石井 正文氏 ・内 容 睡眠調査票の読み方及びコメントの書き方の説明と眠育調査読取演習 ・参加者 19人 	<p>【考察】</p> <p>○家庭教育講座について</p> <p>就学に向けた眠育講話は、生活リズムの定着に役立っているという結果がアンケートから得られている。幼児期における眠育の取組を推進していくため、眠育講話の開催の拡充を図っていく。</p> <p>子育て講座は、参加者アンケートから子育ての悩みの軽減につながっていることから、実施施設及び保護者のニーズを踏まえて講座内容を検討していく。</p> <p>○眠育推進事業について</p> <p>年長児保護者対象の眠育講話の開催、全ての公立保育所での睡眠調査の実施など幼児期の取組の強化を図った。</p> <p>年長児保護者対象の眠育講話はほぼ全ての施設で開催することができ、参加者からは「就学までに睡眠リズムの改善を図っていきたい」という効果的な意見を多数いただいた。次年度以降も継続していく。</p> <p>睡眠調査は更に取組が広がるように私立保育園に働きかけを行っていく。</p>

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及びアンケート結果									
	<p>○睡眠調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル地区及び公立保育所における2週間の睡眠調査 《実施回数》 瑞穂学園 年3回(幼・保2回) 四つ葉学園 年2回(幼・保1回) 三条おおじま学園 年2回(幼・保1回) モデル地区以外の公立保育所 年1回 <p>・調査の事前、事後指導の実施</p>										
②すまいるファイルの活用(継続)	<p>【「すまいるファイル」の活用方法の周知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「すまいるファイル」の配布 (配布数) 出生時の保護者等 525人 転入時保護者配布 135人 出生時以外希望数 77人 	<p>【「すまいるファイル」の活用紹介、保護者との情報共有での活用】</p> <p>子どもに関わる必要な情報を記録し、何らかのサポートが必要になった時に、適切な支援につなげられるよう、このファイルを行政や相談機関に持参し活用できることを周知した。また、子どもの様子をわかり合い、成長に向けての関りを考えるツールとして、「個別の発達支援計画」の共有や個人面談など、保護者との情報共有で活用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●すまいるファイルの活用紹介 <p>【幼保モ】 保護者に周知したり、情報共有に使ったりしたか。</p> <table border="1" data-bbox="1283 871 1928 995"> <tr> <td>モ</td> <td>紹介した</td> <td>紹介しなかった</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>18 (56%)</td> <td>14 (44%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>20 (65%)</td> <td>11 (35%)</td> </tr> </table>	モ	紹介した	紹介しなかった	R3	18 (56%)	14 (44%)	R2	20 (65%)	11 (35%)
モ	紹介した	紹介しなかった									
R3	18 (56%)	14 (44%)									
R2	20 (65%)	11 (35%)									
③家庭への情報発信(継続)	<p>【家庭教育や子育て支援に関する情報提供】</p> <p>妊婦届けを出された方に対し「令和3年度三条市子育てガイドブック」を配布した。</p>	<p>【家庭教育や子育て支援に関する情報提供】</p> <p>園内の保護者に子どもの成長に合わせた内容の講座の情報提供を行ったり、家庭教育の重要性や子育てに関するアドバイスをしたりした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 家庭教育や家庭教育支援事業について情報発信 <p>【幼保ヤ】 園内の保護者にアドバイスをしたり、家庭教育支援事業への参加を促したりしたか。</p> <table border="1" data-bbox="1283 1273 1928 1398"> <tr> <td>ヤ</td> <td>発信した</td> <td>しなかった</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>30 (94%)</td> <td>2 (6%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>27 (87%)</td> <td>4 (13%)</td> </tr> </table>	ヤ	発信した	しなかった	R3	30 (94%)	2 (6%)	R2	27 (87%)	4 (13%)
ヤ	発信した	しなかった									
R3	30 (94%)	2 (6%)									
R2	27 (87%)	4 (13%)									

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在) 及びアンケート結果									
④家庭教育や子育てに関する相談の実施 (継続)	<p>【相談会の充実】 家庭教育や子育てに関する悩みや不安を解消するため、相談会等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電話相談：随時 <ul style="list-style-type: none"> ・育児相談…72 件 ・家庭児童相談…総件数 752 件 ・虐待とは判断しないもの 343 件 ○来庁相談：事前予約 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発育・子育て相談(臨床心理士と言語聴覚士) 月 1 回の土曜日相談の実施 ・臨床心理士相談…114 件 ・言語聴覚士相談…73 件 ・その他、保健師による随時相談実施 	<p>【相談会の紹介】 悩み事や不安なことを相談できる機関を紹介した。</p> <p>●相談会の紹介 [幼保ユ] 園内の保護者に相談機関を紹介したか。</p> <table border="1" data-bbox="1283 400 1928 523"> <thead> <tr> <th>ユ</th> <th>紹介した</th> <th>しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>32 (100%)</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>31 (100%)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	ユ	紹介した	しなかった	R3	32 (100%)	なし	R2	31 (100%)	なし
ユ	紹介した	しなかった									
R3	32 (100%)	なし									
R2	31 (100%)	なし									

(2) 地域の子育て支援の拠点化

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在) 及びアンケート結果									
① 親子が気軽に交流できる拠点づくり (継続)	<p>【子育て支援センターにおける親同士の交流や相談事業の充実】</p> <p>子育て拠点施設及び子育て支援センターにおいて、親同士の交流や相談事業を実施した。</p> <p>●施設における事業実施状況</p> <p>○すまいるランド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定例講座…145 回実施 ・ 参加者…延べ2,946 人 ・ 内容…歌、絵本、折り紙、助産師相談、栄養士相談 ・ 恒例、特別イベント…49 回実施 ・ 参加者…延べ976 人 ・ 内容…七夕飾りを作ろう、わくわく子ども広場等 <p>○あそぼって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定例講座…157 回実施 ・ 参加者…延べ2,542 人 ・ 内容…歌、ダンス、ヨガ、助産師相談、栄養士相談等 ・ 恒例、特別イベント…14 回実施 ・ 参加者…延べ1,069 人 ・ 内容…バルーンショー、演奏会等 <p>○子育て支援センター (8 施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行事内容…歌、リズム体操、絵本紹介、季節行事等 (各月3回程度) ・ 育児講座 286 回 ・ 子育て広場利用者…1 日平均7人 	<p>【園庭開放や地域との交流活動の実施】</p> <p>子育て中の親子が気軽に集え、交流できるよう園開放日を設けた。交流活動では、高齢者をはじめ地域の人々と交流する中で、人と関わることの楽しさや人の役に立つ喜びを味わえるよう努めた。</p> <p>●園庭開放や地域との交流活動の実施</p> <p>[幼保コ] 園庭開放や地域との交流活動を積極的に実施したか。</p> <table border="1" data-bbox="1305 584 1951 705"> <thead> <tr> <th>コ</th> <th>実施した</th> <th>実施しなかった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>21 (66%)</td> <td>11 (34%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>13 (42%)</td> <td>18 (58%)</td> </tr> </tbody> </table>	コ	実施した	実施しなかった	R3	21 (66%)	11 (34%)	R2	13 (42%)	18 (58%)
コ	実施した	実施しなかった									
R3	21 (66%)	11 (34%)									
R2	13 (42%)	18 (58%)									

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及びアンケート結果									
②子育て支援情報の発信(継続)	<p>【子育てに関する情報提供】 子育てに関する情報を提供した。 ○子育て情報メール配信(月3回+不定期) 配信件数 52件 主な内容 子育てセンター・子育て拠点施設イベント情報、子どもの健康注意、手当等に関するお知らせ ○Twitter・note等、SNSの活用による子育て世帯への情報発信</p>	<p>【子育てに関する情報提供】 メール及びホームページを活用し、園だよりの掲載、行事についてのお知らせ等を行った。(メールは、登録制で在園児保護者のみ配信)</p> <p>●子育てに関する情報提供</p> <p>[幼保ラ] 在所(園)に限らず、地域へ子育てに関する情報提供をした。</p> <table border="1" data-bbox="1308 491 1951 614"> <tr> <td>ラ</td> <td>提供した</td> <td>提供しなかった</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>27 (84%)</td> <td>5 (16%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>23 (77%)</td> <td>7 (23%)</td> </tr> </table>	ラ	提供した	提供しなかった	R3	27 (84%)	5 (16%)	R2	23 (77%)	7 (23%)
ラ	提供した	提供しなかった									
R3	27 (84%)	5 (16%)									
R2	23 (77%)	7 (23%)									
③相談支援の実施と関係機関との連携(継続)	<p>【子育て相談、関係機関との連携】 子育て支援センターや幼稚園・保育所(園)等で実施する相談支援に関する情報を提供、「NP講座」「初めてのママ講座」開催の周知</p>	<p>【子育て相談、関係機関との連携】 [幼保リ] 保護者等の子育てに関する相談に乗ったり、必要に応じて関係機関との連携を図ったりした。</p> <table border="1" data-bbox="1314 802 1921 925"> <tr> <td>リ</td> <td>行った</td> <td>行わなかった</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>31 (97%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>29 (97%)</td> <td>1 (3%)</td> </tr> </table>	リ	行った	行わなかった	R3	31 (97%)	1 (3%)	R2	29 (97%)	1 (3%)
リ	行った	行わなかった									
R3	31 (97%)	1 (3%)									
R2	29 (97%)	1 (3%)									
④総合的な支援の推進(強化)	<p>【保育士等への各種支援の周知と実施】 ○各種支援事業について周知 必要により、各種支援事業、新規事業等について説明 ※子育て支援センター、一時預かり、健康相談、子育て相談、子育てLINE相談、一人親への各種支援、NP、ママ講座等</p>	<p>【保護者や地域への周知】 子育て支援センターや幼稚園・保育所(園)等における支援事業内容を見直し、保護者に周知した。</p> <p>[幼保ル] 次の取組の中でどれだけ実施したか。 <u>アンケート項目</u> ・総合サポートシステムを中心とする各種支援事業について保護者に伝えた。(72%) ・必要な人に個別に声掛けをした。(78%) ・施設内に事業についてのポスター・パンフレット等を置いた。(69%)</p>									

取組項目	市の取組状況 (3/31 現在)	幼稚園・保育所(園)等の取組状況(3/31 現在)及びアンケート結果															
		<table border="1" data-bbox="1305 244 2078 368"> <thead> <tr> <th data-bbox="1305 244 1417 284">ル</th> <th data-bbox="1417 244 1641 284">3つ</th> <th data-bbox="1641 244 1865 284">1・2つ</th> <th data-bbox="1865 244 2078 284">なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1305 284 1417 323">R3</td> <td data-bbox="1417 284 1641 323">14 (44%)</td> <td data-bbox="1641 284 1865 323">18 (56%)</td> <td data-bbox="1865 284 2078 323">なし</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1305 323 1417 368">R2</td> <td data-bbox="1417 323 1641 368">15 (50%)</td> <td data-bbox="1641 323 1865 368">14 (47%)</td> <td data-bbox="1865 323 2078 368">1 (3%)</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1263 451 2134 603"> 【考察】 今後も引き続き、市の支援事業など特に内容の見直しがあったものは積極的に周知していくとともに、保護者が安心して子育てができるよう随時支援事業の改善を図っていく。 </p>				ル	3つ	1・2つ	なし	R3	14 (44%)	18 (56%)	なし	R2	15 (50%)	14 (47%)	1 (3%)
ル	3つ	1・2つ	なし														
R3	14 (44%)	18 (56%)	なし														
R2	15 (50%)	14 (47%)	1 (3%)														